

SAP-MS 研究会

研究実績報告書

2023 年度 (2023 年 4 月 - 2024 年 3 月)

SAP-MS 研究会へのご寄付、誠にありがとうございました。

皆様のご協力のおかげで、2023 年度の IGT クリニックの研究活動は充実したものになりました。この研究活動により得られた実績は IGT クリニックの礎になるもので、2023 年度も皆様方に安心して受けていただける医療を提供してゆきたいと思えます。

研究組織

研究組織名：SAP-MS 研究会（1999 年設立） 代表者：堀 信一

研究員：堀 篤史、中村達也、鳥井将弘、雑賀美和、中澤雄希

寄付金の用途

医療材料費、器材購入費、動物実験費、研究発表費、研究者の養成、研究補助人員の給与、臨床研究薬品購入費、水素ガスの有用性に関する研究、IGT クリニックの診療環境整備やスタッフの育成等

研究費は以下の目的のために使用しました。その内容を以下に記載します。

学会発表

学会名	日時	発表演題	場所	参加者	備考
APSCVIR KOREA	4/12-15	・How I do deTACE for HCC? ・The Latest Embolotherapy Practice	韓国	堀信一 西川進哉 陳碧雯	
CAIR	5/25-27	・ Keynote spotlight Series - Device development for interventional oncology arising from daily practice ・My best and worst day in the Angio suite: lessons learned in the trenches	カナダ	堀信一 雑賀美和 陳碧雯	

		・ Masterclass : Genius Session with Dr. Bob Abraham & Dr. Lindsay			
TACIO	5/26-27	Transcatheter treatment in lung metastases	タイ	堀 信一	ビデオ講演
SIR	6/11-17	Trans-arterial Management of Recurrent Breast Cancer	アメリカ	堀 信一 陳碧雯	
Merit ThinkEmbolics	6/30	New Horizon for Embolotherapy	台湾	堀 信一	WEB
Breast and Women's cancer 2023	7/12-13	Transarterial approach to the primary breast cancer and lymph node metastases	フランス	堀 信一	WEB
HCTM	8/24-25	Why Hepasphere in Lung & Breast	マレーシア	堀 信一 陳碧雯 豊嶋玲	
Merit Symposium	9/15	Trans-arterial treatment for extra-hepatic tumor	ブラジル	堀 信一	WEB
Annual PAIRS Scientific Congress 2024	2024/2/10-13	<ul style="list-style-type: none"> ・Lecture Title Embolization Material Tool Box ・Lecture Title Chemoembolization of Extrahepatic Malignancies ・Hepatic arterial chemo-embolization for various liver metastases using superabsorbent polymer microsphere 	アラブ首長国連邦	堀 信一 陳碧雯	

		・DRUG-ELUTING BEADS - HANDS-ON - CURRENT COMMERCIALY AVAILABLE FOR IO ・How to Build Endovascular Service in Private Sector			
--	--	--	--	--	--

論文発表

学術雑誌名	論文名	著者名	内容	備考
JVIR	Feasibility Study of Transarterial Chemotherapy Followed by Chemoembolization for Recurrent Breast Cancer	Atsushi Hori, MD Norifumi Kennoki, MD Shinichi Hori, MD Shuto Oka, RG Tatsuya Nakamura, MD Ikuo Dejima, MD Akihiko Kumamoto, MD Shintaro Takao, MD Tetsuro Sonomura, MD, PhD	原著	

国内出張

目的	日時	場所	参加者	備考
学会	4/14	神奈川	堀篤史	
関連施設訪問	5/11	東京	堀篤史	
関連施設訪問	6/8	東京	堀信一	
学会	6/17	大阪	堀篤史	

関連施設訪問	9/5	愛知	堀信一、堀篤史、出嶋育朗	
関連施設訪問	9/20	大阪	堀篤史、陳碧雯、鳥井将弘	
関連施設訪問	11/1	東京	堀信一	
学会	11/11	東京	堀篤史	
関連施設訪問	11/30- 12/3	東京	堀信一、堀篤史	
関連施設訪問	12/20	大阪	堀信一、堀篤史、出嶋育朗、陳碧雯、 鳥井将弘、中山毬代	
関連施設訪問	2024.2/1	東京	堀信一、堀篤史	
関連施設訪問	2/22	東京	堀信一、堀篤史	
学会	3/21	新潟	堀篤史、鳥井将弘	

国外出張

学会	4/12~4/15	韓国	堀信一、陳碧雯、西川進	
学会	5/25~5/27	カナダ	堀信一、陳碧雯、雜賀美和	
学会	6/11~6/17	アメリカ	堀信一、陳碧雯	
学会	8/24-27	マレーシア	堀信一、陳碧雯 豊嶋玲	
学会	10/3-10/8	アメリカ	堀信一、陳碧雯	
学会	2024/2/10-13	アラブ首長国連邦	堀信一、陳碧雯	

IGT クリニックでの臨床研究：必要な薬剤を購入し以下の研究に使用しています。

目的	具体的内容	効果
新治療法の開発	アバスチンの適応外使用	血管内治療の成績向上

機材購入：以下の目的で購入し、研究活動に役立てています。

購入機材	目的
インジェクター	カテーテル治療時の負担軽減

IGT クリニックの診療環境整備

使用目的	具体的内容
入院環境設備	入院環境改善

今後とも、SAP-MS 研究会へのご支援を、宜しくお願い申し上げます。

以上。

令和5年度 収支計算書

自. 令和5年4月1日 至. 令和6年03月31日

SAP-MS研究会

収入の部

(単位:円)

科目	決算金額
前年度繰越金	530,327
寄付金	5,738,000
利息	14
当期収入合計	(5,738,014)
収入合計	6,268,341

支出の部

(単位:円)

科目	決算金額
参加費	182,540
会費	0
年会費	207,898
手数料	55,042
環境設備費	465,114
論文関連費	0
出張関連費	31,474
書籍費	6,160
消耗品	330
研究開発費	97,000
講演会関連費	0
通信費	4,200
当期支出合計	(1,049,758)
次年度繰越金	5,218,583
支出合計	6,268,341